

高齢者の薬物治療レベル向上へ

ファルメテイク 狭間研至社長



今年は、
2010
年の医療・
介護報酬
の一体改

訂に向けた動向を見ながら、それぞれが事業経営の戦略を戦術レベルにどのよう
に落とし込むのかを考
える一年になるのではないかと
考えています。

大きな方向性として医療
と介護のオーバーラップする
分野の評価が上げられて
いますが、その代表的な部
分は、介護サービス利用者
の薬物治療支援です。この

数年、薬局薬剤師による配

薬支援・服薬管理が強調さ
れ一定の成果を上げてきま
した。しかし、これでは薬
局による業務支援としては
十分とは言えません。今後
は、薬剤師が医師・看護師
とともにCDTM(Collabor
ative Drug Therapy Manage
ment)にしっかりと取り組
み、要介護高齢者の薬物治
療のレベルそのものを高め
て、様々なアウトカムの改
善を実現していくことが重
要になります。当社はそ
の先陣を切っていきたいと
考えています。